

# 新しい市議会議員が 決まりました

統一地方選挙を締めくくる市議会議員選挙が4月22日、行なわれました。

今回の岡谷市議会議員一般選挙は4月15日に告示され、定員18人に対して22人（現職16人、新人6人）が立候補届出をし、選挙戦を繰り広げました。

投票率は67.57%で平成11年4月の同選挙を9.71ポイント下回りました。

※得票順



渡辺 太郎 (49)  
公明党 現  
川岸上二丁目



杉村 修一 (67)  
無所属 現  
長地柴宮一丁目



田中 肇 (61)  
無所属 現  
中央町二丁目



## 当選証書附与

当選証書附与式は4月23日午後1時30分から市役所9階大会議室で行なわれ、新市議会議員一人ひとりに小口選挙管理委員会委員長から当選証書が手渡されました。



今井 康喜 (63)  
無所属 新  
52番地1



武居 光宏 (67)  
社会民主党 現  
山手町二丁目



鮎澤 美知 (63)  
無所属 新  
川岸東三丁目



斉藤美恵子 (55)  
無所属 現  
長地権現町二丁目



武井富美男 (57)  
無所属 新  
堀ノ内一丁目



花岡健一郎 (63)  
無所属 現  
大栄町二丁目



笠原征三郎 (61)  
日本共産党 現  
銀座二丁目



八木 敏郎 (57)  
無所属 新  
川岸中三丁目



高林 紘一 (63)  
無所属 現  
湖畔一丁目



三澤 一友 (64)  
日本共産党 現  
川岸中二丁目



今井 秀実 (49)  
日本共産党 現  
成田町二丁目



横内東洋雄 (62)  
無所属 現  
川岸上二丁目



横内 正 (58)  
無所属 現  
川岸上一丁目



征矢 久 (58)  
無所属 現  
山手町一丁目



浜 幸平 (55)  
無所属 新  
中央町三丁目

# もしも…のときに備えて 防災訓練を実施します

防災情報おかや  
●危機管理室  
(内線1591)

## 平成19年度「土砂災害に対する全国統一防災訓練」

県と市町村は協力して、住民の防災意識高揚のため平成18年度より「土砂災害に対する全国統一防災訓練」を実施しています。本年度、諏訪地区では岡谷市で実施することになりました。

### 目的

土砂災害により多くの人的被害が発生している状況のなか、減災につながる最も効果的な対策は、自助・共助による迅速な避難行動であると言われていて、住民の防災意識の高揚を図ることを目的に諏訪建設事務所と岡谷市と共同で防災訓練を実施します。

### 実施日および時間

6月3日(日) 午前9時30分～正午

### 訓練対象地区

三沢地区(主会場:三沢区コミュニティ施設)

### 訓練参加機関等

三沢区住民、ケアハウス高尾、岡谷警察署、諏訪広域消防岡谷消防署、岡谷市消防団(第8分団)、岡谷市、諏訪地方事務所、諏訪建設事務所

### 訓練内容

- (1) 情報伝達訓練
- (2) 避難訓練
- (3) 防災講習



### 6月3日(日) 午前9時30分

三沢地区で防災行政無線の放送があります。

訓練ですので、災害と間違えないようにしてください。



# 心豊かな 男女共同参画社会の 実現をめざして



## 《 防災・災害復興で共同参画は必須 》

昨年7月19日、当市は未曾有の土石流災害に見舞われ尊い命と多くの財産が失われました。

災害発生と同時に市内外、全国から男女を問わず多くの方々がボランティアとして、泥上げや物資の仕分け・搬入等の活動に参加しました。今回の経験から、防災・災害復興こそ男女共同参画が必要ではないかと思いました。

そこで男女共同参画推進市民の会では、一部被災区および被災者の声をお聞きして、男女共同参画の視点で災害の対応について考えてみました。

### ○被災区長さんのお話(花岡区、橋原区)

- ・昔の結(ゆい)い(お互いに力を貸し合う)の時代にタイムスリップしたようだった。
- ・女性はいざとなったら強いし行動が早い。自発的に素早く炊き出しをして喜ばれた。
- ・現場は女性の気づきが役に立つ。



### ○避難所での生活は?(南部中学校、湊小学校)

- ・必要な物資に不足はなかったが、一部女性の下着等が不足したところがあった。
- ・近所のお爺ちゃんやお婆ちゃんと知りあいになり、心強かった。
- ・女性の着替え、授乳、赤ちゃんのおむつ替えの場所にも配慮されていた。
- ・同じ町内同士まとまっていたほうが、コミュニケーションがとれてよい。

### ○取材で感じたこと

- ・避難所等での救援活動に対する不満はあまり聞かれず、感謝の言葉が多く寄せられた。
- ・災害時には、高齢者、障害を抱えた人、子どもなど弱者が取り残されないように気配りが必要。
- ・日赤奉仕団など、日頃の訓練がなされているので、テキパキと活動ができる。
- ・現場での救援活動は男女ともできる事はなんでもやる。男女別分担など言っていない。
- ・防災、災害復興は必然的に男女共同参画が大切であると感じた。市の防災計画に反映させたい。

## 「防災、災害復興での男女共同参画」

国の「男女共同参画基本計画(第2次)」で、「防災・災害復興」にも女性の参画が取り上げられています。

災害発生時の経験から、被災時には増大した家庭的責任が女性に集中するなどの問題が明らかになっており、防災(復興)対策は、男女のニーズの違いを把握して進める必要がある。これら被災・復興状況における女性をめぐる諸問題を解決するため、男女共同参画の視点を取り入れた防災(災害復興)体制を確立する。

～男女共同参画基本計画(第2次)より～

男女共同参画に関するお問い合わせは…総務部企画課(内線1528)